



ンガディ・チュリ
7,871m

岳

つくばみらい市立伊奈中学校 生徒指導だより

No. 4 令和6年3月13日

～安全に 気持ちよく 学校生活を送るために～

安全のために通学路の変更します

先月から通学路の試行、アンケートを実施して、危険が指摘されていた通学路について検討をしてきました。その結果、「**愛宕神社わきの県道127号線を登下校中に横断しない**」ことにしました。



国土地理院地形図より作成

理由を以下に説明します。

- ① P T Aの校外指導委員会から通学路の危険箇所としてあげられている箇所で、
- ② 下り道路で自動車の速度が上がりやすいうえに、
- ③ S字カーブになって、塀や植物により見通しが悪くなっており、
- ④ これまでも地域の方や警察の方から心配の意見が寄せられ、
- ⑤ 上記の対策を試行後のアンケートで通学時間は長くなったが（19.8%、※変わらない72.4%、短くなった7.8%）、安全だと感じる（35.2%、※変わらない60.8%、安全ではない4.1%）意見であったためです。

先生方での話し合い後、P T Aの理事会でも議題に取り上げていただき話し合いました。その中で例外を認める必要がある意見が出ましたので、県道127号線沿いに自宅がある等の理由で、やむを得ず横断せざるを得ないという生徒は、申し出てください。

ヘルメットを着用しましょう

冬以降、自転車事故は少なくなってきましたが、一方でヘルメットを着用せずに登下校する場面があるという情報が増えてきています。

これまでも伝えてきたように、自転車乗車中に事故にあい、亡くなった人の損傷部位としては、頭部が約60%と、他の部位に比べて圧倒的に多い状況です。そのために、道路交通法が改正され、ヘルメット着用が努力義務化しました。

中学生の皆さんはまだ心身ともに成長途中です。自転車運転の中で、安全に正しい運転ができるようにしていきましょう。

卒業証書授与式を終えて

3月11日に第54回の伊奈中学校卒業証書授与式が行われました。卒業生は、一人一人立派な姿を見せていました。何度参加しても卒業式は感慨深い行事です。実際、行っていることは儀式的行事なので、形式的な事が多いのですが、様々感情が刺激されます。それは、卒業式が中学生生活のゴールであり、最後の授業、到達点だからなのでしょう。

今回は、卒業式を終えて、シンガーソングライターの中島みゆきさんの『永久欠番』という曲から卒業ということ、学校生活について考えてみましょう。

永久欠番とは、野球やバスケットなど背番号のあるスポーツで、功績のあった人物の番号を特別な番号として使用しない（欠番とする）ことです。『永久欠番』の歌詞の一部を確認してみましょう。

永久欠番 作詞・作曲 中島みゆき

どんな立場の人であろうと いつかはこの世におさらばをする
たしかに順序にルールはあるけど ルールには必ず反則もある
街は回ってゆく 一人一人消えた日も 何も変わる様子もなく 忙しく忙しく先へと
(略)
百億の人々が 忘れても 見捨てても 宇宙の掌の中 人は永久欠番

この歌の解釈や受け取り方は人によって異なりますが、社会の中での一人一人の存在という点がテーマになっています。

卒業式だけでなく、3月は別れの季節です。それまで伊奈中学校の一員であった3年生がいなくなる。先生方が異動となっていなくなる。それでも伊奈中学校での学校生活は続けられ、一見して何事もなかったかのように学校は忙しく先へと回っていきます。古い思い出の上に新しい思い出が重ねられていき、やがて忘れられていくものなのかもしれません。

ですが、この1年間、2年間、3年間という時間を同じ伊奈中学校で過ごしてきた後輩や先生方からすると、卒業した生徒なしに、伊奈中学校での生活を考える事はできません。卒業していった3年生の姿、その存在というものは、伊奈中学校の歴史の中での「永久欠番」、かけがえのないものです。

残された在校生は、学校生活の中で3年生が支えていたこと、3年生が担っていたことを引き継ぎ、新入生を迎え入れて、新年度の伊奈中学校を創り出していきましょう。

